

大会理念・スローガン及びスローガン策定理念について

公益社団法人日本青年会議所 四国地区愛媛ブロック協議会
第49回愛媛ブロック大会今治大会スローガン
結心 ～次代へつなぐ架橋となれ～

実行委員会委員長 神道 裕介

【大会理念】

私たちは「明るい豊かな社会」を実現するため、愛媛県内各々のまちで様々な事業を推進・展開しています。各地で行われているその運動は愛媛ブロック内全体で情報共有することにより、新たな刺激・変化・発見が生まれ、今後の私たちの運動のさらなる高みへの飛躍につながります。また、愛媛ブロック大会記念式典及び記念事業を通じて、縁が織りなす出会い、そして友情ときずなを深められる機会を創出し、メンバーの心と心の結束の強化を図ることで、愛媛ブロックの運動はより広くより深みのあるものへと昇華していきます。

本年、今治青年会議所は「公益社団法人日本青年会議所四国地区愛媛ブロック協議会2019年度第49回愛媛ブロック大会」を主管させていただきます。今治は、造船業・海運業の繁栄により海事都市として発展し、全国的な競争力をもつ今治タオルをはじめとする繊維・食品などの企業や桜井漆器・菊間瓦などの伝統産業があり数多くの魅力が存在するまちです。近年では、しまなみ海道や鈍川地域などの自然を活かしたサイクリング大会の開催、また地元サッカークラブや大型商業施設の誕生、さらには大学の誘致などにより様々な面に於いて著しい変化を見せ全国的にも注目を浴びています。今治人が愛するまちを活性化するために常に挑戦し続けている「変化」。そして次代へとその想いを繋いでいく「心」を発信するとともに、ブロック大会を開催できることへの感謝の想いを常にもち、より多くのメンバーの心と心をつなげることでできる大会とします。

今大会を通じて、「誰も取り残されない 誰もが挑戦できる 幸せなまち 愛媛の創造」を実現させるため、今治青年会議所が持つ力を結集し、2019年度第49回愛媛ブロック大会今治大会を開催いたします。

【スローガン策定理念】 スローガン： 結心 ～次代へつなぐ架橋となれ～

2018年7月に起きた西日本豪雨災害。その被害は日本全国の広範囲にわたり、私たちの住み暮らすこの愛媛に於いても甚大な被害を及ぼしました。しかし、発災後に自らがまちのために、友のために何ができるのか、先頭に立ち積極果敢に行動したのは他にもなくJCでした。まちを愛する熱い想い、次代へ向けてのかけがえのないメッセージ、そして志同じくする者だからこそできる無償の精神。私たちはJC運動を通じて知らずの間に自らが思う以上の奉仕の心を培っているのだと改めて感じます。

いつ何時、何が起こるか予想のつかないこれからの時代。時代の変化に伴い忘れられがちな日本人たる精神性。混沌とした時代だからこそ私たちメンバーは心と心を通い合わせ一致団結し、大切な何かをつなげていかなければならないのです。小さな光を集めれば、いつしかそれは光り輝く架橋となり、それはやがて「明るい豊かな社会」の実現へつなぐと信じ、大会スローガンを策定いたします。